壽 櫟 廬 儀 禮 夷 固 禮 器 啚

至舍地官道人掌邦之委積凡國野之道十里有處廬有飲 外蓋遠郊近郊背有勞遠郊勞畢從至近 經云至于郊王使人皮弁用壁勞使氏亦皮弁迎于帷門之 **剗**禮圖 客則與行人逆送之小行人云凡諸依入王則逆勞子繼又 **俄禮奭固禮器圖第**十 難實 並及同觀設 里有福宿有路室路室有委五十里有市市有侯館 仮館 離大宗伯賓禮八覲爲秋見在三此制入覲受賜 一義禮頭耳禮器圖十 則遠郊路室則近郊也秋官訝士云那有智 方明之事儀 名山吳之英潔 郊近郊勞畢則從 事機励散害之

惟 經云侯氏裨冤釋幣于爾 門標有宮就路室侯館而飾之非次也猶今為使節張具矣 旌門幕人云凡朝觀自同共惟幕惟帝殺經言帷標有旌言 冕服六圖 鄭玄謂碑冕者衣碑亥而短冕碑 郊天官掌舍云爲帷宫設 而搖謂王出勞于近郊 小行人逆勞于畿畿建 **云及郊勞眡館將幣爲** 爵士在遠郊小行人在近 **製據常禮王不親勞則** 經言神冕衣神

玄克朱喪延經蓋第上覆用木玄帛上朱帛下以衣木質延 也又云誻疾練游九就珠玉三系其餘如王之事練游皆就 侯伯七子男五孤四卿三大夫二以次而降鄭意據本所當 玉二百一十六龜晃七游用玉百六十八希冕五游用玉百 云五系線十有二就皆五采玉十有二 餘垂望之邃游組所以紹笄屬武下垂左右俱屬焉弁師又 長也謂前後少長垂覆爲飾玉藻記云前後邃延即謂前後 冤滅左屬笄首由項屬右奔尾結之以固笄左右私皆有繆 二十玄冕三,府用玉七十二公冕九府於皆九玉前後同其餘 玉鎭玉笄鄭以衮冕十二斿用玉二百八十八鷩冕九斿用 可知对衣冠冤非舉冤核服義也夏官弁師等王之五吳皆 一玉笄朱絃蓋笄以固

祭羣 自玄冕 公子男自霍晃而 **衮晃享先**公饗祀驚見記 **黻皆希以為** 也春官司服掌王六 辰 希見服玄晃服祀上帝 肌 維一姓 日龍次山 則斿玉數同下遞降者斿數降而 二章裳四章凡七毳冕服画虎雌謂宗焱也衣三章裳 小龍玄冕公服自衮冕而 刚 一族而民服 下如孤 次華蟲次火次宗奏 繡衣五章裳四章凡 て作前 鄭玄謂處書 下 如侯伯 九章登龍于山登火于宗爽的其神 再二世前 服 有大婆冕服衮冕服驚晃服磊冕 大裘 四学 孤自 1 Щ 而冕祀 如王侯 九鷩晃服画以雉仰華蟲 皆画 希恩而 川毳冕祭社稷五祀希 王 一章 以績次粉米次補 數亦降此鄭解冕 五帝亦如之享先 作服 伯 下如子男鄉大 目 周 驚見而 以 H 月星 次 如 那 晃 明

| 章凡五希直絲或作術希晃刺粉米無回衣 | **丞自衮晃而下線玉皆三采游就玉皆九雖鷩毳希玄亦九** 不宜以一晃通短六服嫌其亵故五冕皆先稱服以標之 一經文鄭義多未叶也何也弁師云皆玄冕朱襄延紐又云五 玉者相間爲文不謂每就皆倘五色王綠就與玉以十二爲 **来**繅十有二就皆五来玉十有二王笄朱紘言皆則五冕所 既同冕而有玉冕之稱者舉為服且服亂而成稱臟之有別 有之在後無義也謂就末綴玉凡十二不謂每就十二五釆 節據鎮主之數自大表苑以下皆同無九七五四三之差也 同東方朔答客難云冕面前旒所以蔽明旒即斿是斿惟前 1000、泉入地に直に14世紀の100mm 111 | 見也稱神見者神武也尊大裘以其餘為副循稱偏傷耳鄭 |希冕而下線玉皆當||宋於就玉皆四玄亦四卿大夫玄冕 一般在翠典荒矣亦不宜複是無可用者矣夫大裘之服最尊 | 義器訓罷另何以用之且山在尊矣能在旂矣關在夏與要 前代以爲日月星辰既登旌旗冕服嫌而不用則虎雌俱爲 男自囂冕而下繅玉亦三朵斿就玉皆五希玄亦五孤以下 |襲服必備十二章公自衮冕而下知上當有十二章而經文 說冤談矣說服又有談話何也周制何文不容冕服反儉丁 侯伯自鷩是而下綠王皆三朵游就王皆七毳希玄亦七子 不當同君經雖無線玉二条之支以禮意等之當降矣孤自 10 信则国民和名目

訓覧為赤雉釋名云質憋也雉之態惡者不可生服故四千 富國篇天子孫嵇衣晃鄭眾亦以衮爲卷龍衣許慎說文云 一篇十二三年也次則衮公之服自変冕而下如王衮卷也荀子 衣象人執耿介之節也此服上給三下繡四前後同故取去 仍十二矣次則驚侯伯之服自陰冕而下如公驚即雉說 卷龍繍于下幅 襲充美之調知大喪襲服十二章以下則皆各稱其形制而 穕飾矣文從公衣索固上公正服但龍止九章天子之衮則 冕服 但取十二章之龍上繪卷龍二下繡卷龍六前後同無 大襄不楊鄭以楊為覆衣則嫌于襲為衷衣不叶記楊見美 真情稱大裘裘必有表不應楊裘以配上帝故玉藻龍云 一龍酥阿鄉上釋名亦云画卷龍子衣是衮 四

希以玄吳繪繡俱無而黼嚴則十二章之終叉常飾所通用 爲雌古八均緩長言之爲雨文山海經鬲山其獸多猿雌爾 矣次則希孤之服自希冕而下如子男希即稀褙紉精密之 雅雄杏昂鼻而長尾知無虎者虎肚毛非聽義此服上繪言 **電說文云獸細毛也即十二章之宗樂宗獎雖也宗襲合聲** 仍十二公仍九候伯正服七章矣次則毳子男之服自義冕 也其緣依裳下邊爲之上橫鷸二行下橫橛三行前後同 名蓋衣無繪但希緣于裳則黼黻耳知非繡他章者繡蓋于 而下如侯伯靇毛也劉向院苑尊賢篇云背上之毛腹下之 |前後同王仍十二公仍九侯伯仍七子男正服五章

一章之華蟲華蟲得名雉者爾雅所謂五宋皆備成章也王

一个不是一月十二十二

|以玄名則玄衣朱裳 **大夫皆臣 也蓋天子大** 子男五 者區地之物猶 服六服者 用生物者公侯 不能倘天地之 而裳繃不能 孤四卿大夫二 五服為互起之交也今圖 弁師所掌為辨爵等大裘襲服特用 上院在艺 百十十七十七十八十八 ~化也作繒絲繡之法亦唯大 Ž 日月星辰屬天之物唯王大裘 據物為 表十二音備四時月數諸公九諸 給不編蓋 男皆君也後二冕 男與孤同而 子男仍五孤 者固以命數為節也 網繡則周法 取玄冕朱裏之義以爲 則 卵大夫之正服也前 Ĺ 服四章也玄冕 繡 一否者 邟

服襲冤裘犬州 **冕後雖觀稱碑冕意不及** 服附說于弟 |晃圖几六晃服皆各據正服爲圖 迮 一周神 孤卿大 稗原宜弦也坩希玄干 夫以同得神名既圖稗

裳六上則繪當眉目在左月在右星辰繪斗在中山在千左 大裘知有葉服玉藻記言凡表皆裼惟大裘不裼尚質也大 藻水草也左爲火形中下爲粉米粉分也散米爲交米下爲 龍在斗右夾之華蟲雉在斗丁裳則絲繡中上宗養雖也右 繪斧編谷名之大裘用玄 狐取天色外表襲衣十二章衣六 皆五采玉十有二玉笄朱絃裘之稱大以襲服猶諸侯視省 交也夫羔賤于狐狐叉豈可襟羔黼裘蓋以表衣領裳各有 之稱輔義鄭以大裘為羔裘猶以黼裘為羔與狐白襍為黼 冕服以王大裘之冕爲尊玄冕朱襄延紐五采繅十有二就 列共十二章以襲大裘若謂經言大裘不言襲服則日言 列補下屬裳邊為微被編如市制有首有頭相聯為 下義體

度

因

遊

界

圖

十

羊之裘不楊不交飾也以楊為見美襲為充美楊內 衮 冤 也詩槍風云狐裘以朝不得謂但言狐裘即無朝服也 服 稗 亦卷龍心 /龍章衣三 兇侯伯正 服練玉三 游戏九 一裳六衣繪裳繡背 不所言: 「八三十 采游就 能 な 為卷龍王仍十二上六下六 玉七餘如王之事服以幣 就據上 衮冕公正服冕 餘 繅玉三采斿就 玉九夏官弁師 **云諸侯繅族九** 如王之事服 公起例 而襲

服冕鷩冕稗 服冤忌冤神 **防**就ユ J. H 長人は正一百つつけ、自己見が四回し **燃**健七

繪 服 冤 冤 希 裨 埘 玄冕卿六夫正服織玉皆二朵游就玉皆三大夫雖再命卿 共四章前後同王仍十二云仍允侯伯仍七子男仍 據瓷繡稱名。補當裳中横二 一裳編 C L 命冕尊在上應以卿命為節也其服上玄下朱本 |共|| 章王仍十二公仍九侯伯仍七 了食就更且而名目 黼二列 撒二列 一列敬在辦下亦二列列為 裳希冕服衣無繪故 希冕孤正服練玉 其服希希絲心脊 朱襄或象笄青紘矣 精也謂繡黼黻 扯 章



弧 旗龍 **夾庾唐大之名攻工弓人記言王弓之屬不言弧知弧同** 宮公侯伯子男皆就其旂而立則旂固有别别于旒矣今圖 九斿據上公命數爲例侯伯七子男五遞降可推 建族下經云朝于方明之 所建别旂匈而旗卑也但 **侯建旗與熊虎為旂師** 建爐則諸侯通五角背同 上云王建大常下云孤卿 官司弓矢掌六弓则 弩八矢之法有王弧 木弓也六弓之二夏

有刑事但刑名刑一

埛 贈多者也載弧標奉揚天子之威命不載矢示不設軍容 統補為衣下有足縮攷工記画績云白與黑謂之黼黼即斧 經云天子設斧依丁戸牖之間左右几斧依者蓋以木爲質 則以左手屆獨執拊蓝以韋為弓衣開其當弦處旣納則紐 弓猶言眉弓之屬不言大知大弓同唐如王弓則往體篡來 弧而叉韣之宗末以爲用 爾雅釋宮戸牖之間謂之展展即依文從戸衣衣之蔽戸牖 乙內則記云皴簟而獨之字從衣因通為藏器之衣名既載 說文云弓衣也月令中春紀云 刀禮天子所御帶以弓鞴投以 弓矢于高禖之前少儀記云弓 九

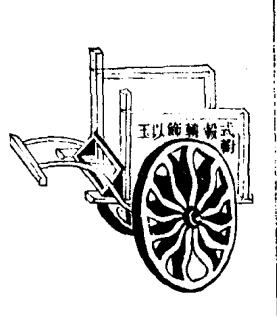
依 路五圖 明君臣之分也鬼神右几生人左几猶設左右几者通人 ·鬼神行先王之典馮先王之靈以受之即亦不敢坐也 說文云屏蔽也爾雅釋宮云門 屏之間謂之宁屏謂之樹禮緯 位記云天子負斧依南鄕而立 問者因人依之叉爲依耳明堂 不答拜故不答拜者朝覲所以 含文嘉云天子外屏諸侯內 不坐者諸侯有禮事當立受之

賓同姓以封三日象路朱樊纓七就以朝異姓以封四日華 **舰子男也木路不言就數畧藩國其三就再就可知也王不** 封諸侯故為此制使同姓封皆視公異姓皆視侯伯四衞皆 容木路同喪中木車其金象華之縵就以九七五降者當以 横木中當亦有之不得盡在諸末木路則漆以墨車猶塗不 路龍勒條纓五就以即戎以封四衞五日木路前樊鵠纓以 田以封藩國鄭玄謂玉金象皆以飾諸末華路魏门漆木路 不難涤之英謂玉金象華固以飾名但前之式左右之轛與 下四亞之路即車四四馬所以駕路春官巾車掌王之玉路 日玉路錫樊纓十有再就以配二日金路鉤樊纓九就以 人表體超過過是恐國十

經云天子賜侯氏以車服迎干外門外再拜路先設西上

路

ガ 玉 路



駕也故四路

謂之偏言

元專乘正

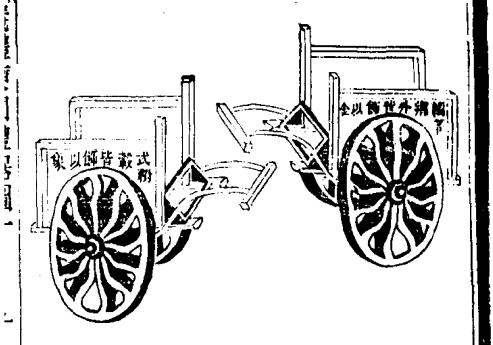
得王供御之

偏

軜皆飾以玉

玉路式轛穀

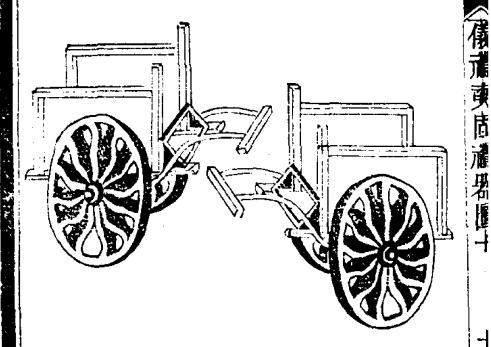
車可矣王專乘路固有别焉不得如稗冕儗君當以十二旒 皆十有再就者偏駕不入王門諸侯猶乘墨車藩國將乘棧 用之有别矣坿圖玉路起四駕之所以侢偏也 别之也猶賜之者使得自乘於其國雖與服同賜制之有法 作が見る下頭なり



路木

The state of

路革



弘官 覲 謂之 在廟示 四尺共丈二 ,覲後舉合諮 明 觀冬禮 m 門北 天子有 朝部之 外反記方明而 一尺其高也云加 明加 方 西門 十有三部 東門 戲體製 一候之 所禀承也故 一禮猶 固體 器 朝謂 時所配各有所出之 邱陵于西 也云深四尺蓋壇必三成每 地不止三百步云四 | 尋尋八尺共九丈六尺其 外反 明于上者方明家神在 之朝夏 外 | 禮畢 禮後之 元方明而朝謂之 門外 尴 三百步 十二 **反則配馬蓋** 屢出若女也 反配方 南 阿云堰 門 明 週 野

明 方 凡以 東方主然則上下四方各染其當方之色刻而飾爲加 上神明之也天子門外禮 北 可儀云將合諸候則令爲瓊三成宮旁一 外反配方明爾雅釋天訓旌旗云緇廣 經云天子 **方黑上玄下黃設六玉上圭下壁南方璋四方琥** Hj 事 **乘龍載大席** 而來特見者則皆受之于廟固不爲宮于 C 凯 iķī 白色設 青色 設 赤設 設 琥 琐 ĘĢ 韭 銀日 色 畢反則能 月升龍降 牆 設六色東方青南方赤西方 万明六方神明合而爲一 **配經云方明者木心方四** 所謂增 遊宮 龍出拜口于東門之 充幅長 門鄭玄謂壝土爲 郭 外春 北 宜 于

脪削 常非由卓以資之義也九族首舉大常據王所建之至貴 龍降龍知爲病象日月則又兼常制故大之鄭玄直以爲 族王族近大常故也春官司常云日月爲常經云象升 更異其名曰大旆鄭據 **寸經薪尺有二** 郑與朝之大赤即戎之 養性延見過過器圖十 寸搭大圭乘 **魏屬賓禮當建旂云大旆者以** 狹春官巾車云王建大族以 然而垂蓋幅帛爲之形從 朝事儀曰天子冕而 說文作旅亦日繼施之 大白田之大麾同在九 大路建大常十有一 +== 執鎮主

法經特舉首例皆減其交 合實體餘若夏禮日秋禮山川邱陵冬禮月與四濱如朝日 樊緩十有二就貮車十有二乘帥諸侯而朝日于東郊所 教尊尊也蓋朝事儀之稱大常者以象日月名之實不能兼 儀禮奭固禮器圖第十終 有所可一丁十二 壽櫟鷹弟三子吳 弟子羅紹驥繪圖 王用賓 傅守中校勘 延 再 校 ,

喪服禮圖 儀禮與固禮器圖第十 內親自高祖至來孫為九外戚有母黨妻黨姑姊妹女 總衰在其間總麻無異等記又出公子爲母之服爲妻 喪服凶禮大宗伯以凶禮哀邦國之憂以喪禮哀死亡 大功小功總麻也而斬三等齊四等大功小功各二等 子子並所適之族為六皆統於五服五服者斬衰齊衰 之服大夫命婦相弔之服 哀 透 亂 說 交 云 喪 亡 也 從 哭 亡 會 意 因 喪 制 服 名 喪 以充禮哀凶札以弔禮哀禍裁以繪禮哀聞敗以恤禮 名山吳之英談 毒櫟區叢書之一

衰斬 経直 **吳冠七升說在聘篇聘君薨衰** 圍中徑一寸七分約苴絰大度因以下四服之經帶由此差 アノラニ 首經 經云苴經者麻之有費者也苴 指常相交促物之名二指尚相 經大搹左本在下費麻牝麻尤 惡故重服用之攝扼以擘指食 經云斬衰裝傳云斬者 半其冠六升以其冠爲受 裳內削幅幅三袧言凡賅 不緝也記云凡衰外削幅 斬叉云衰三升三升有 何

受章傳云何以無受也喪成人者其又經喪未成人者其文 緞非謂紐也以斬衰經有散有殺齊衰級既絞則無餘機大 為重言大功以上有小功以下無夫斬其冠繩繆齊衰冠布 月機經其中碼七月不總經媽之交質又在長中鄭以經總 殺垂疏衰楊垂大功牡麻經繆小功總麻固緩經矣大功無 斬衰貌若直也疏衰至總麻皆牡席經斬哀經始散垂既殯 喪禮云要經小馬言要疑明先有首經言小明亦去五分一 無受者又以輕子齊經變其移垂見輕經又云其長殤皆九 不縟故殤之經不楊垂蓋未成人也斬寇散垂爲哀重大功 即小統帶耳首經加于免要經加于哀皆直也故間傳記傅 也鄭玄以為中人之扼圍九寸直據兩手合圍過大非度士

The state of the s

では、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmのでは、100mmので 杖 帶度其授杖當杖輯杖去杖之節皆因時與事酌為之惡 能病也喪服小記云經殺五分而去一杖大如經則小掃 直 之帶也去五分一以為帶大功之經齊衰之帶也去五分一 變見義耳傳以為交鄭以為良甚乎該也相弓記云經也者 傳云直經大稱左本在下去五分一以為帶齊衰之經斬衰 功變齊妄有機調檢之餘殤則緩垂故亦謂之機經證因 何輔病也童子何以不杖不能病也婦人何以不杖亦不 **建一个中间** 中间 中间 中间 一 質也 齊其心皆下本杖者何爵也無 **爵而杖者何擔主也非主而杖** 傳云直枝竹也削杖桐也杖各

帶 紁 繩 散帶垂垂長三尺身級而垂散也記云三日絞垂當承既殯 冠 持冠變吉冠之用組纓繩末殺麻曰繩合細綵爲叢日 A STATE OF THE PROPERTY OF THE 言發後三日也 去五分一以為帶總麻之經小 功之帶也去五分一以爲帶又 縫冠六开外畢銀而勿灰羅 親始死子括髮有君命有大夫 云鮫帶者繩帶也士喪云苴絰 以爲帶小功之經大功之帶也 至免而出三日而敛成服乃冠 留袒則免傳云冠繩纓條屬

|喪冠條屬以別吉凶右縫變于吉記又云三年之練冠亦像 七升以其冠為受受冠八升聽衰四升有半其冠八升大功 冠而新冠軋加一升大小功不言冠受其冠倍衰其受差冠 易服冠升率倍衰升有奇升者從滅不從贏受新衰者據故 入 并若九 升小功十升 若十一 升機八十 日 升 受 請 民 葬 而 惡士喪記稱冠厭厭小卑意言不以尚大爲客記云衰三升 屬石縫小功以下左畢网也約繩之名外畢縫耑在外取其 **糭非繆實散垂畧如糭條直也直屬于武冠武不別襟記云** 三升有半其冠六升以其冠爲受受冠七升齊衰四升其冠 為母括髮以麻免而以布齊衰惡笄以終喪男子冠而婦 可知不言總總則吉冠無受也喪服小記云斬衰括髮以麻

|童子當室總者則當兒以杖兒倪也蓋以六升麻方牖為之 **婦舉括髮兔髮冠笄之相值也問喪記曰或問日冠者不** 禮日童子不總惟當室總總者其免也當室則免而杖矣言 切頂鄉前俛然故曰免掘縫工加経馬故可以見秃 可以補禮也又或問目免者以爲何也曰不冠者之所服心 **飲則禿者不免傴者不袒跛者不踊非不悲也身有錮疾不** 袒何也曰冠至尊也不居肉袒之體也故為之免以代之也 笄男子兒而婦人髽其義為男子則免為婦人則髽此為 营 腱 一、美體支司體器圖十一 傳云管履者皆非也外納蓋菲 之郊謂之屏菅白華也左氏昭一 屏麓疏履名方言三五屏履麓履徐兖 四

倚 年傳云雖有縣麻無葉菅蒯外納亦外畢意 廬 又名堊室稱外寢者核正寢為外鄭玄謂中門之外屋下壘 聖為之則外寢亦是更作夫中門之外不當壘墼既名之寢 **既練舍外般舎止也外羰以內東塾為寢因而堊之示新之** 接事也又云既處弱屏柱楣寢有席則廬中茅狹無席又云 居外寢亦更作乎祥而居黜惡又更作乎加飾爲爾喪大記 何必改作謂聖室必更作則玉藻記所謂將適公所宿齊戒 以外外 有一次的人 南人 人名英格兰人姓氏 記云居倚廬蓋倚東塾之壁支 壁就主位北戸就隱不欲接 不覆草為廬而北其戸以外寢 門內墊北則廬當在門外東

居鷹士居堅宣大夫次于公館以終喪士練而歸 宮之凡非適子者自未葬以于隐者爲廬叉云既練居堊室 之大夫士為廬檀之旣葬柱楣塗廬不于顯者君大夫士皆 云父母之喪居倚腷不途寢苫枕塊非喪事不言君爲廬宮 **童子哭不做不願不杖不菲不爐叉云君薨次于公館大夫** 非時見乎母也不入門疏衰皆居堊室不鷹鷹嚴者也又云 居廬不寢苦襟記云廬堊室之中不與人坐焉在堊室之中 既祥黝堊又云禪而從御吉祭而復寢期居廬叉云婦人不 爾雅釋器云白蓋謂之苦左氏 **袰十四年傳云被苫蓋則是苫** 名蓋草之柔弱可織爲被

笄 箚 總布 寸標婦為姑謂長度鄭玄云謂之總者既東其本又總其末 塊 人有派可且派名區十一 燥之 說文云埃也蓋陶土爲枕形 傳云箭斧長尺吉笄尺二寸爾 雅釋草篠箭蓋竹之細者記云 升數與男子冠同檀弓記云八 笄髽衰三年束髮謂之總比 女子子適人者為其父母婦為 經云女子子在室爲父布總節 見姑惡笄有首以髽傳云惡笠 **丁之冠傅云總六升長六寸則** 而

髽 爾毋扈題爾蓋棒以為幹長尺而總八寸髮挫也義取偏低 櫛笄也櫛蓋木笄此據在室故箭笄彼云有首起此之無首 小記云箭笄終喪三年 國子日 四日日日日日日 喪服小記云男子冠而婦人笄男子 **姑之喪夫子詢之髽日爾毋從從爾** 而婦人髽檀弓記南宮縚之妻之 傅云齊衰大功冠其受也總麻 經云公士大夫之眾臣爲其君 從從直尼尼大放皆禁之 **布帶絕展布帶齊衰之帶有緣** 也経蓋七升八升疏衰期章

屨 繩 裳袞 疏 小功冠其我也帶緣各視其冠則白布質狹為之緣耳必 布帶絕屨起公士大夫之眾臣有别于天子諸侯之臣有别 Amount. 金元可且所号目 云繩頹者繩菲也示皆菅菲之質 **公卿大夫室老士** 經云疏哀裳齊傳云齊者何緝 逈 記云若齊裳內衰外負廣出 寸適博四寸出于衰衰長 衣帶下尺冠二尺

纓布冠 経 麻 牡 祛尺二 斬蓋喪事始死仍吉小飯而免免而經三日成服乃冠當免 叉云齊衰四升其冠七升以其眾爲受受冠八升說在期篇 一寸詳齊以標斯再言裝內該外嫌齊裝可內削幅 Comments of the second 在民國是任民 引 西是思论词则十一 **麻也牡麻経右本在上牡麻**器 傳云冠者沽功也沽猶疏齊冠 有章右本在上右陰也取輕于 私喪衰 疏功甚斬冠之不言功冠七世 削杖布帶疏廢傳云牡麻者枲 經云疏衰裳齊牡麻経冠布纓

腰麻 杖削 疏 屢 屬右縫內畢 有雅多世元中 布繆裥布爲條垂之散本 愈 逸詩雖有絲麻無葉嘗 釋草燕應說文云草名鹿藿也 傳云疏極者蔑蒯之菲也 斬衰章傳云削杖桐 同父也亦齊心下本 木榮桐木用木不如用竹之惡 削發直杖不削取桐之聲意 牡麻者桌麻也蓋有實謂 雅釋草桌麻即三年章傳所 稱蒯亦菅類 爾雅釋 爾雅

言之 裳 **樛絞 也樛垂不散垂傳據女子子之長殤経不** 衰布 大名說文云與旗 功大 |殤服八升中殤服九 無質調之 上記 日日二十二十十日五十十日日一 同葩 正服傳言正 用兒壯而有章稱麻者以通 記日大功 適衰負质袂祛衣帶 治在屋下故從广 Z 制皆如齊以其布微有銀緝 日大功傅云大功布 一服記兼中殤間傳 (功八升 也微緻 裳衽 為功人 削 閫

帶垂長三尺云牡麻経 與本皆據經今言帶及之知稱要經爲帶云下本在左云散 垂起絰身固殺也云長三尺以爲帶之垂度則首絰之垂約 垂 樛 日帶士喪東堂下饌服則日要経云散帶垂即謂散要経之 経 **候服在襲後** 耳叉云婦人之帶牡麻結本在房凡經言麻之牝 散垂絞身之絰也又云三日絞垂蓋上喪 いるのではなくないののできるというできるとなるというできると 小飲前既飲即服之故記云小飲旣馮 **應頭區滅器區十一 石本在**上 帶即要經故諸章與經分言皆 齊衰經樛垂也斬衰草傳首 大攝左本在 據終凡經傳每 亦散帶垂以饌服簡爲成 因帶見経 攝為法

皆九月緩紅其中殤七月不緩紅緩經即不楊垂不緩經 帶則皆垂纓自齊以下然矣傳云喪成人者其支縟喪未成 人者其文不縟故殤之經不穩垂蓋未成人也經云其長殤 矣斬妄苴経杖綾帶因皆稱苴直以苴冠経杖帶故傳以去 倉卒免經被垂而衰乃杖故謂之成非謂預前無服經謂馬 繩與緘異工然仍以経度為差斬衰経散絞之節與帶同布 **経五分一為带立交疏衰以下皆牡麻経布帶布亦牡麻惟** 在三日則殺垂亦當在三日殯後無變矣則三日成服達禮 游所以賢子曾子者也雖若喪五日殯大夫三日瘡而枝皆 尸後主人髻髮袒眾主人兇于房婦人髽于室此為服始子 日杖于此時級垂實在發後一 日故曰三日成服杖謂以前

絰 垂 樛 不 東衰裳止有一 衰苴帶與首紝同級故亦可統名曰衽記云衣帶下尺則兼 楊垂鄭玄斬衰章注云首經象綱布冠之 有級垂象革帶齊衰以下用布夫首経圍首結之故有左 右本在上在下之分不得與缺項相似要經即絞帶因 云其長殇皆九月緩經謂上 || 信刑司臣:川岩里 帶固不等于大幣居喪去佩亦無用象革 爲也 陽言 不楊垂謂散垂散垂哀重而殤 |所出十五等長殤纓経郎不 不楊垂者變于服成人以爲 不縟非爲哀也傳據九月長

一次指

易已降也正服何以易衰殺也問傳記云斬衰三升旣虞卒 後受服别于殇之大功不易服又别于小功正服殇何以不 一說文云葛絲給草蓋用小功衰升數而易以葛爲大功三 **経纓不** 纓 絰 や我性が利性な場合 **機経則移垂経開終身終** 經云其中殤骨七月不纓 變于長殤也 **連無餘纓也何以不餘示** | 殤制不縟其文 丁五等中殤不

乎首婦人 男子重首婦人重帶除服者先重者易服者易輕者又期而 輕者也斬衰之喪既處卒哭遭齊衰之喪輕者包重者特旣 大祥素稿 即衰功小受功大 功之喪麻葛重齊衰之喪旣虞卒哭遭大功之喪麻 、除乎帶男子何爲除乎首也婦人何爲除乎帶 麻衣中月 而禪禪而纖無所不佩易服者何爲易 縁要紅不除男子除 七升爲母疏衰四 重期而小群 以成布七升冠 麻服葛葛带 練冠級 也

作师黄上师专一

總也記云總衰四升有半其冠八升蓋總衰升數微多于 經云 萬鍬服之斬衰之莒與齊衰之麻同齊衰之萬與大功之 有除漸乎古也無遭他故則輕者包重者特同者兼服爲之 麻衣變萬要以精變疏爲減衰裳變則帶經變故練有除群 小功布十一 叙除之差有麻葛練冠麻衣之名非謂麻重而萬輕萬變麻 兼服之 而衰服制因節而變因變而輕故有卒哭練祥之節有易受 同大功之萬與小功之麻同小功之萬與緦之麻同麻同 例 總衰裳 矣小功郎葛與緦之麻同哀意同矣傳日大功布九 1兼服之服重者則易輕者也蓋居喪之道哀心以 升標大功正服儿升受萬衰取小功中等 | 美埃爾瓦伯 可油匠原位國十一 牡麻經既葬除之者傳日總衰者何以小功之

裳 薄禮簡 總 **龚經云諸** 時接見 細 Mi 經 升減 ** 多有計可目前 服 之 名 大為 故特為之制不入五 功衰加 但有 接見之情不依從君之 天子傳云 牡麻経著 「イー 細故日 何以總衰也諸侯之大 同大功 一小記 服 地大 除 云總細疏布蓋緯 功故在小功上說 而少于大功既 列大功 月數 則布帶麻履 而 例 數捷 功問 此恩義差 功 功 同

等齊衰有 降服正服之分似也而經例未 減其升數 受之九月小 升九升小 **、**升問傳記云斬衰三 事 術之派 工具布 年有期有無受大功有無受之九月七 下殤 **猶斬衰之無異升也** 功 斷 功有無受之長殤下殤下殤不減 · 医有去 写 20年 数法理者明明一一一 本澡渦滌也屈而反報謂屈本反絞至幅 升 门總 不功帶操麻不絕本屆而反以報之記據 月有有受之正服則長殤十升下殤十 服升數皆有三等而總麻三月則統以 十一升十二升總麻十五升去其半有 此哀之發于衣服者也鄭玄以爲有 升 齊衰四升五升六升大功七 明蓋斯茲三年升數自無 月嫌近總麻 月有

裳葛即功小 裳衰布功小 《住施黄母而名臣十二 澡麻経 帶麻 澡 絰小功輕 不使本間弱麻叢 **麻帶澡麻絰也絰** 功正服受 言源麻帶経 本則不反報 則 中間 有纓先帶後 則操 功 功

|文襍記日總冠操纓大功以上散帶朝服十五升去其牛而 也然則絕者冠十五升布深機總衰裳麻經布帶原履也深 泉 麻 规 總加灰錫也記所謂大功以上散帶者因總冠操纓兼明大 功以上冠纓與絰帶不澡小功冠左縫乃有澡纓布帶不散 丁五升抽半故徑以即葛名 升小功正服十二 一色美国国际 引用的医口管部门 一升卽葛當十四升不言受總衰總衰 者布衰裳而麻絰帶 其半有事其縷無事 不言衰絰畧輕服省 其布曰經鄭玄云總 傳曰總者十五升抽 111

4.1 衣 麻 刮潰之锡易也據朝服以抽者近吉之服以升數爲癥穗衰 **群之冠練冠麻而麻衣量度于練祥間也源赤黃色爾雅釋** 期而大祥素縞麻衣素縞謂冠卽玉藻記所謂縞冠素羝旣 **経麻衣 漚麻作布雖不以衰名仍未全乎布功問傳記云叉** 記補經耳線冠旣練凍帛之冠父在厭也麻齊衰章之牡麻 自 前 可 但 派 名 匝 一 記曰公子為其母練 也 昆弟爲其母在大功 冠麻麻衣纐縁日公 其母則父在公之庶 子則非適日公子爲

深其縷如小功不卽葛之澡麻帶其成布當絶本間傳 紐 服無更輕者也公之庶昆弟爲髮在大功記補公子爲妻文 制檀弓記云練練衣黃裏繚緣上練謂練時裏謂緣中本質 冠 縓 染謂之源再染謂之經三染謂之無源縁群衣而棄練 完成自己 167 TME DE 18 11 11 用葛輕于麻當絕本 耳亦既葬除之固不得過于母 澡其縷如小功無受之澡麻絰唯 **冠為妻降于母亦麻衣豲稼喪** 麻衣鄉緣縣色帛為冠輕于練 記云公子爲其妻豲冠葛経帶 不謂麻衣為表 上日

度差帶度聯言四服之帶皆據經差所謂去據博狹言不謂 夫既云四糾安得謂之三重喪服惟斬衰經帶用散麻易葛 葛 **滋繆矣此爲妻服有厭固不當重其廣狹之度或卽葛絰差** 除首經帶故帶疏衰以下布帶斬衰傳所謂五分去一據經 布帶亦當破而糾之間傳記云三重者謂屈布裙之三重爲 **疏衰去麻服葛葛帶三** 鄭玄謂五分去一 乙引舊說練而帶去一 二糾之以爲同小功之經 而四斜 股

有刑司旧州名品

笄男子免而婦人髽其義為男子則免為婦人則髽鄭玄引 記以為大夫命婦相弔之服傳云錫者何也麻之 後缺項處約覆頂之耑結之疏器之制似冠非冠舊以爲廣 舊說以爲免制象冠廣一 免 而爲之斬衰之免六升齊衰之免七升免從冠升可知免之 寸之麻布爲圍中覆處爲屈邊梁圍鄉上代武納麻于中至 言俛哀深之服故袒踊必免猶有罪者之免冠燃約以尺五 寸蓋調屈武橫度但言之不詳制爲晦 炎島同日與牙間十一 寸小記叉云免而以布蓋用疏麻 一謂權爲之 云朋友皆在他那程免歸則 喪服小記云男子冠而婦人 服免似冠代冠者 爾 **F**.



故稱子皆子也傳曰 笄首折 雖惡有首示變下 弓記云蓋榛以爲笄長尺是用榛也記言以髽固安髮之笄 理髮也蓋理髮器用所摯榛果之木爲之故笄用櫛木耶 以成婦道內則記云婦事舅姑如事父母與夫胖合 之舅姑則當子然則終婦道終子道也故曰終之也始死笄 則當子我所以事舅姑 何以言子折笄首而不言婦終之也終成也謂成子道所 **『義曹原 国龍路 園十一十十十小 丁在室女子子之箭笄無首** .折笄首者折吉笄之首也吉笄者象笄 即人所以事我父母知我父母亦 記云卒哭子折笄首以笄布總 承女子子適人為父母婦為舅 下重出則嫌複偏舉則不姟 而 同體 傮

滅爲人婦則于父母稱子不純于舅姑禰子亦不純記子之 笄吉 者不純亦子也起在室之女子子全乎子 惡而有首重者輕之卒哭笄吉笄而折首輕者重之相變爲 儀禮奭固禮器圖第十 終 壽櫟盧弟三子吳 記云吉笄者象笄也謂以 家骨為之刻首馬 弟子羅紹驥繪图 傅守中校勘 王用賓 鋌 再校

七喪禮 堂生 禮若穕記喪大記所稱岩大夫喪則因士喪加隆昔班 亡事始死而復含而襲小斂大斂而殯殺其制爲士喪 哀死亡凶莫甚于死亡故先之自喪暨既夕與虞皆死 也而士喪記在旣夕篇後與他記例達則分記坿經 固嘗饑推士禮至于天子之說執以爲例良有違焉其 可推者等之差也固不習禮未知禮意耳司馬遷稱高 士喪凶禮也大宗伯以凶禮哀邦國之憂首云以喪禮 一傳十 禮器圖第十 一全成期更复了一曲回中一回十二 一禮十七篇今篇數如舊是士喪故與旣夕分 名山吳之英謨 語樂廬叢書之一

斂 時云商祝 襲亦斂事 **敛皆有衾襲** 幠用斂衾即襲衾以用小斂時緇衾之 一般所並用之衾小鮫之衾當陳夫衣尸之節三襲小鮫 触用有衾知夸衾未陳然則 失之余箸藇固自士處適寢 止歸入土喪篇末今圖記自一日以上 也小飯陳 布絞衾散衣祭服謂布藉衾卒斂奉尸侇于堂乃 一生加可旧加岩目 幠会襲畢時云設盲橐之膴用衾實卽用魰 藉衾陳時稱緇衾 衾複 用斂衾去死衣然則為去衣故 **袋喪大記云始死遷尸于牀幠** 小飲之衾不盡陳亦不得為 巾經 至小日主婦 制得斂名鄭玄以為 云死于適室應用 魰 斂

縮斂衣多宜加其度襲衾不當如之 安各一 质狭衾無橫幅縮當如之小斂之衾縮當如小斂之絞締衾 記云若錦衾大夫縞衾士緇衾惟衾幅無次大記叉云小鮫 當陳則不宜豫用爲幠故知斂衾近取襲衾蓋始死幠衾沐 經云楔齒用角柶楔作支柱義記云楔貌如軶上 布绞縮一 浴時當徹之沐浴畢而襲不言市会襲畢而冒乃幠知即始 死所幠小斂陳衣時云緇衾顏裏無紞斂衾匍當如之喪 死之應以名斂不名夷也大斂有應衾有藉衾陳衣時云 一幅襲衾當同其制若大斂衾樞之編當亦如大斂絞 横三叉云大飯布絞縮三横五絞以敷衣多寡為 是我不已 等十十世五十十日

那 楔枫角 車前氏而衡後印邊象其 楔纖也經稱楔齒記用為名圖并題楔 修確頭臣確者匿一 經云綴足 安也便安之 ,入齒宜兩末支左右宜菔之狀 岩轅軥平 春官司几筵云凡吉事變几 知非角柶質用角藉名耳說文 The same of the same of the same 鄭眾謂變者變其質有 故變文日上說文云 一其末宜支齒言末 謂之鉤鉤謂之 則側置之足綴 以將禮蓋無漆

牀 蓋常寢于地加席病則牀乃席春秋左氏傳襄二十一 支足鄭玄謂核爲几脛若然則几面在北面平豈可綴足耶 八中横維之不防尸拘不可履几面 曰校校在南 ·馮託疾以辭令尹方暑闕地下水而牀焉方言云牀齊 是人的过去人口上的过去式和一一一 帷 說文木部牀下云安身之坐 南廉 事旁曰雌亦巾屬帷堂則帷 倚也人有疾病象倚著之形 从木爿聲許書故無爿字蓋 天官幕人掌雌幕崛來殺之 人增入也當从疒疒下云 1 年楚

某氏某之柩竹杠長三尺置于宇西階上經言半幅謂 岱之間謂之樺其上板衞之北郊趙魏之問謂之牒或曰膈 長度用橫幅度則極末長終幅亦橫幅字橋西階上示將資 之樹自關,而西秦晉之間謂之杠南楚之間謂之兆東齊海 之斯錄之矣 之檀弓記云銘明旌也以死者爲不可別故以其旗識之愛 釋名云人所坐臥日牀牀裝也所以自裝載也 魯之間謂之寶陳楚之間或謂之第其杠北燕朝鮮之間謂 某氏某之枢 名也題志之以表死經云爲銘 各以其物亡則以緇長半幅極 **末長終幅廣三寸書名于末日** 緇

徑 之不備官也記云甸人 示取給用 **柶爪鬃掘之少西不全乎神南順為棄** 野者若比天官甸師掌 向 南其壤鄉 点发 地名 百月 日 世 日 名 日 日 一 日 田表貉之 (築玲坎謂畢棄時拾泪 也堅士 內揜坎宜 記 耕 坎陷 尺南其壤蓋 **罗**皆牆凶事反吉故 耨王 一大為後工 云掘坎南順廣 經云 祝號攝 一藉者然 鄭玄 间 坎亦 為將浴 以甸 由 非義也蓋甸 西言廣輸 Į 輸 事供役者儗 西東鄉宜 人為有 東 尸棄潘與巾 階間 二尺深 地 司 四 烣 兩

盆 新 謂之盆或謂之益其小者謂之升驅新者冠盆髮瓶廢敦重 南為義送終之禮于是焉始不敢褻新而又濯 盆質 **丁則鍾蓋各乘以四四豆為區斗六升四區為釡六斗四升** 云齊舊四量豆區釡鍾四升為豆各自其四以登于釡釡 小取華堡當作投說文云陶竈囪也為建所以煮潘 |金則石||斗八升方言云 營瓶為之 | | | | | | | | | **食配面尼加名個一二** 經云新盆樂瓶廢敦重局皆 脣寸鬴即釜左氏昭三年傳晏 八記二二盆實具 鬴厚半 西或

瓶 敦廢 說文作瓶云響也或作瓶蓋盛水小器詩小 開 重 「在发展記憶」の可能は見れる場合して 用器 皆直足矣攷 無足無蓋以盛含米取異生人 之罄矣維罄之恥 大方言云缶謂之 者謂之鬲款曲 謂之瓶 敦豆屬有足有蓋廢偏棄之名 **钢雅釋器鼎絕** 謂之煎附耳 闸 也鬲曲足則鼎 外謂之釴款足 大謂之願圍 ī 為馬子 人記云屬 「楓其 驅

衣 明 裳 或謂之鉼江 與衣稱激足 鬲說文云 觳 厚 半寸唇寸方言云鍑北燕朝鮮洌水之 鼎 踝長及穀與潤 屬質五穀 准陳楚之間謂之錡或謂之鏤吳揚之間謂 · 信丽勇且加岩區 無網 斗二升日 云帛蒼艾色 稱鄉赤色 裳 則短裝屬幅侈袂 不辟長 云 因縣重 一般 帷幕之 明衣裳用布 然 爾 及 則鬲亦鼎以款足 屬 日重高 觳 雅釋器 圖 疏 長 級 E 記云 問 貗 綼 一牌裳 或謂之 衣 緆 染調 長 有前 朋衣 緇 純 取 鐭

笄 緇 也辨湯 狼色辨色拍 可假名地綥 嫁女所服 故 果皆 所共先言楊先舉 次為淺芽外博為緇 在裳經當先編純後經網緣 明衣裳猶器之稱明焉爾鄭玄謂 日不借綥或作綦既云帛蒼艾色則布蒼艾 これの はん できるすり はられる 純 但 他經言純不言綼楊非裳皆無節 網粉 譽會幾也几笄皆營名餐果尸 **取用見義長四寸適髪而止** 經云用桑長四寸緩中桑聲 內飾網 緇 純 純他不言楊死者之特服 示相變制異故緣異別 楊叉內納楊故 乃衣裳敘顯終· ī 飾裳在 幅 同 色 服 線 以 喪

中 **纋笄中央以安裝義無適旨後人以為削笄中使狹夫笄皆** 也綢也謂以[孫有所束也緩之所以滯髮中當髮處鄭玄 布 | 鑿恐人 賈爲之記 CHARLS. 中傳雕或适應界區十二 其親士子親含無嫌忌也雜記云鑿市以飯) 絲賈蓋士矣 束首之巾三服備襲無適冠故 狹中耳凝豈削解哉 邊環幅裁幅圍之鑿者穴中値 備含不墜者放巾而含顯大 所以揜尸口經云環福不鑿幅 經云練帛廣終幅長五尺析其末 說文云練凍網也用帛者重首 調 揜 猶 以

說文云幎幔也稱周官有幎人幎目所以蔽上面舉目 廣終幅排乃足長五尺圍結之度析其末府周髻由項後結 鼻可知蔽下面有布巾矣經云用緇方尺二寸經裏著 之鄭玄以爲將結于頤下叉還結之項中曲依冠組之結則 臥防重墜者不當耳檀弓記云練角瑱則居喪之瑱亦 **玉璵諸侯以石經云瑱用白纊說文云纊絮也死用纊** 石 瑱 / 在支地豆」を打出地豆」は「公園十一二 傳云充耳謂之瑌琇瑩美石天子 五尺短矣 也傳云塞耳也衞風充耳转堂 THE RESERVE OF THE PERSON OF T 則耳

目 幎 掘 將加之巾上則當名幎面耳 面目疏矣鄭玄禤為覆面然含時有設巾文後無微巾文若 襄水火之色長尺二寸上下出于手廣五寸出手廣度說 以牢為開養牛馬圈从牛冬省取其四周币廣 有那更巨而是1 稲稲布方尺二 與布巾同類不當如揜之完幅也 **廣五寸牢中旁寸著組繫玄表纁 提手以為拳實示送死無虛子無** 組繫隅設之將結于項以死者為 **爬裏猶下纁著著以絲取案而厚** 心耳經云用玄纁襄長尺二 |寸蔽上面爲給 す

玦 周 結于擊手後骨起處為擊裏親膚則表親指繫上繫結謂合 長五寸 也襲時 云設握乃 連學記 云設握 襄親膚繁鉤 亦用絲束之故今文作纋方亦旁也如牢中約五寸加旁寸 中未明故以此文成之似笄用刀削此當裁時縫之者不知 中東中于握宜中不言度適人手為度旁寸謂所牢出 削約握之中央以安手今文樓為穩旁為方以解餐笄續 下各寸則牢中之節也必旁寸備繫動移鄭玄讀牢爲樓 下共二寸得七寸不牢者上下各二寸五则廣五寸者 下繫約之 玦也象生時設之射者男子所 **循明器之有弓矢也經云** 中指

止 纊 横帶設之 **門繁巨指後節襲時**云殼決魔 學飯反也反 雅所謂桋 |棘若桿 棘 大棘 以紐援大學本因沓其喔 指 本云 棘組繫猶極二 棘赤棘言若防無王 持 爾雅釋木所謂終牛棘言正嫌棘種多檡棘 澗 L 決以革為之藉有强弱 由學還結大指後節 页 前 亦 纊 放弦其誤與大 ACCOUNT OF 臣 繁而 中各一後有 取 案不 尵 蓝 器 失緒矣 生時決用象骨若玉若 病指變子 于學自飯持之麗學謂 個十二 棘 組不 射 組在決 以横帶貫組結 爲繼 儀解 內耑 更 開 極 極緩 隅 鄭 有 玄淵 組 耳朔玄 띩 布岩 坿 外 以沓 清 袓 後

襲以至小斂不冒則形是以襲而后設冒也 說文無豫字鄭玄謂古文禄為綠古文是也今文因形近誤 殺七五三者以密疏見等穕記云盲者何也所以揜形也自 緇盲極殺綴旁三凡盲質長與手濟殺三尺蓋綴旁為交質 大橐爲囊引詩載囊弓矢是也上謂之質正也長與手齊冒 耳爾雅釋器云緣謂之純說文亦云緣衣純蓋襲用三服全 短喪大記云君錦膏黼殺綴旁七大夫玄盲黼殺綴旁五士 下易下謂之殺滅也拚足者由足上至膝下拚上不適事故 手齊經殺排足既襲時云設 靈尸總名經云 盲緇質長與 冒疑之囊削聚說文云車上

緣 色近私褻服鄭玄謂亦緣謂之禄後人以為爾雅釋婦人嫁 **時禄衣交今爾雅無此文未知鄭所據也天官內司服掌王** 常服緣之示變生人亦無取三服盡緣也緣仍用玄色以間 后之六服禕衣揄狄闕狄鞠衣展衣綠衣素沙娜玄謂緣即 無緣襲時玄尚緣故稱隊節升皮弁不緣者以玄尚為士之 **叉不言緣衣有赤緣之制夫男子發衣同于婦人 稼字或作稅實黑衣進御燕居之服男子祿衣黑則是亦黑** 有が更しがるるして 耑 布禄衣當玄崙之次削玄崙服玄 同冠禮經云爵弁服純衣知惟 用級衣叉云皮弁服知衣仍白 而 日稼衣者生時筒 は随意な 服用完質

為笏制以大夫不執玉而云前部後詘也叉云笏天子以球 玉諸侯以象大夫以魚須文竹士竹本象可也又云笏度 竹 **縁則纁衻婦服矣故知男子祿衣用玄純婦人乃赤綠** 茶削詘後直讓于天子大夫前詘後詘無所不讓蓋象主以 有教命及所啟白則書于上備忽忘也蓋天子諸侯大事 尺有六寸其中博三寸其殺六分而去一釋名云笏勿也君 **曶古文作몔象形玉藻記云天子滑珽方正于天下也諸侯 穕記子羔之襲也繭衣裳與稅衣纁和曾子曰不襲婦服赤** 《義體與固體器圖十二 有衡者所執以爲相見之飾次 于瑞玉說文作묄云出氣詞从 |象氣||形引春秋傳鄭太子 也

巾 沐 巾 綦 焉說文云竹冬生草象形下垂者箬箬也全用竹變于生不 **圭璧小事用笏大夫士不執圭璧皆用笏笏亦圭制而微變** 組 浴 為飾 義經云沐巾一 殺屬其小者以為冤纓又云網帛着 艾色或从其作蒸煮以蒼艾組屬層 經云組基繫于踵部履豐說文云組 亦巾也以沐面稱沐面在上尊陽之 後尚繁之情說異生時 體嫌褻故別于沐巾經云浴巾 一浴巾二皆用綌綌疏

衣 浴 梸 畢浴全覆之浴衣燥則身燥矣故浴時又曰挋用浴衣可以 **报也鄭玄以其制如今通裁未知其制** 之級或 謂之絡關西謂之緣類急就篇云纍緣繩索絞紡績 下體為别必亦用給皆在笄無題志者浴巾長矣 能攻血亞 [尼] 对[加] 是记证回到十一一 汲索說文云粳也蓋繫物之綆可 **石橋自關而東周洛韓魏之間謂** 無用竹用糉皆淘而合之方言 經云浴衣子篋用以推尸亦 **雅巾類蓋禪裁如前牛衣裳** 形故名衣去尸衣則覆之浴 體屈之下浴下體屈之上 <u>+</u>

夷 則不 冰則盛水經言士有冰有者不宜有謂或君賜之夷 洪水鑑賓各共水大喪共夷樂冰則夷亦戶器之 貴賤猶夷牀夷衾也漢禮器制度云大槃廣八 非必泥于名矣天官凌人掌冰鑑外內饔之膳羞 用可者寬許之解有則可用無則不可用既加 「信加ラーカディー 造冰焉士併瓦槃無冰瓦槃 以盛冰冰尸防氣熱色變喪大 經云士有冰用夷槃可也夷樂 **本君設大檗造水焉大夫設夷槃** 類心

之甸人置重于中庭參分庭一在南夏祝鹭餘飯用二鬲于 明同主 主故為重樹旌于上以依神宜有主道矣故朝禰廟止 外之西明非耐不以入極將道甸人抗重出自道道左倚之 一尺深三尺漆赤中諸侯謂之大燦與夷槃等 下幕用疏布久之繫用幹縣于重幂用章席北面左衽 不从枢以入壙既虞埋之有主代之經云重木刋鐅 一義體與到過學的個十二 作主則埋重然則始未 重檀弓記云重主道也殷 殷禮旣作主猶綴重周禮 主綴重焉周主重徹焉謂 所以承銘旌加鬲焉故曰

帶用給質之結于後祝取銘置于重刊鑿者為置旌縣鬲置 在神宜依之春官小祝云設熬置銘天子又加熬也鄭玄云 達說文云久從後灸之象人兩脛後有距也引周禮人諸牆 餘用一鬲將實之縣重左右慕幂鬲口去蓋也用疏布氣乃 士重木長

三尺無顯據以

遊杠等之約足

縣

鬲可矣

鄭又云 帶東席慶者質加也言幹再周席腰後南地取銘置重鬲飯 前後者誤蹙之北面鄉堂衽席交處下耑左衽上耑交面也 以觀其燒蓋久者馮于物以自申之名謂羅耑繫鬲耳幂乃 中庭待肂事参分庭一在南為愛者升降之節餘飯含米之 縣于重重左右孔貫橫木因縣之幂用葦席以圍重恐由重 平不墜入鄭玄以為以蓋塞局口非人義繁繁局頭幹革也

絞 宜博記云絞給用布倫如朝服獲記云朝服十五升以絞給 將承祭服不當用給用疏布喪大記言紋 則以入體為節耳析其末謂橫幅將以束衣爲結縮不析上 云大鮫布絞縮者三横者五蓋小鮫衣少不防狹大鮫衣多 下皆屬横少屬多也喪大記云小魚布絞縮者三横者 鬲則大夫 **して、主人地立ち、日本の中国・十二一** 四諸侯六天子八與簋同差亦降殺以雨其 絞交也交布為之以東戶衣經 實盤差又有說焉未可泥也 小斂絞剬狹橫承衣裳故三縮 云横三編一廣終幅析其末此 幅為

夫士 横三小斂衣少衾一幅足矣經云緇衾輕裏無紞衾不給也 閒之既布衣加衾覆之喪大記稱小斂一 **耬合之繫物為結因逼其名無統給不結起絞有稅凡敛事** 屬不爲三亦不辟統說文云冕冠塞耳者蓋謂懸與之縷數 小鮫藉一絞一衾無給大鮫絞承于下次則給横間之衾縮 與交縮處相聯不厭防隘且梗給五幅則有橫無縮全幅率 五幅無稅 一也釋名云已衣所以東之曰絞絞交也交結之也 幅為三謂末析取調柔不辟謂三横幅縫合處 經記不言食幅當如絞縮幅襲與 · 放絞縮喪大記云小斂布絞縮 小斂衾如小斂絞縮大斂灸如六 一衾大魵二衾君大

巾盥盆 喪大記稱小魚 絍 布奠幕 要 加矣釋名云衾广也其下廣大如广受人也 一点我地里面的四世曲里的石匠山 間謂之帑亦謂之幪 也大市謂之俗嵩嶽之南陳顏之 為奠設蓋亦用功布 即帶互言 羅喪服所 取疏達亦 开小功十 云要絰小 焉散帶垂長三 云冪奠用功布謂若大功八 升十 標為 謂去五分 市屬方言云喉大巾 同 一升布皆可 物小者小 也則 天子 為

弟 帶人婦 帶也始死服侍疾常服小鮫加經帶絞帶而散垂起首経如 敬垂婦人齊衰不同男子之亦散垂者以結本見哀輕 圖要粧足絞帶義焉 也鄭玄于喪服斬衰章有要經象大帶絞帶象革帶之說故 之發而敍垂経帶 也喪服不言要経此言要経則言散帶垂 知體同經而用則 也故記云三日紋垂喪止一帶不佩故 第牀簀青派棧蓋牀氐之板所 爾雅釋器一一等間之第說文云 謂齊衰如 女子子在室亦宜释 經云婦人之帶牡麻結本在房 |承席亦可剖竹析籐爲之植

不住地方是一个一个一

ķ

俎 会 畫引或說以脫爲刮節目古人疾乃牀藉席博故雖在下氐 素 夷 与記稱會 于有疾童子以華脱美爲大 說文云素白緻網从絲垂 **衾夷衾質殺之 斂衾制如小斂藉衾小斂畢幠用** 襲而設冒幠用衾用始死幠尸之 夷衾喪大記云自小斂以往 **孙不當有綴旁言自小斂以住** 亦有露見者 **大斂之幠亦夷衾** 下狹短上寬長之度中故不 **夫之**質鄭玄以華為 裁缩冒也婚者 į 用夷 雕

席 上叉引或說調碱黍稷之席鄭玄以爲柏梈字磨滅之餘椁 莞 意葦席為居喪所用桂席為居喪事神之席大鮫時所謂奠 席藏中神坐之席如先鄭說當日凡喪事柏苍席加葦席如 席級暗稱柏白也明潔意猶素几也今斂席云下莞上 後鄭說又嫌易字滅中為藏形處神不居焉安可設席使坐 喪事設葦席其柏席用挂鄭眾以柏席為迫地之席葦居其 **通其義凡純質無飾者皆可日素俎以喪素謂去雕漆** 草莞苻離其上幕春官司几筵堂 說文云莞草也可以作席爾雅釋 **有繅席莞席熊席葦席柏席云凡** 五几五席之名物辨其用與其位 宣

不佛雕東匠麗岩單十十一

主

بالمالية 遵除自闕而東或謂之篕掞釋名云布之質算然平正也 質 小鮫質將設故甸人徹開巾鼎有顯復巾者為待事久辟塵 之笙或謂之邈曲自關而西謂之簟或謂之折其麁者謂之 布席如:初不言質則亦下莞上簟也方言云簟宋魏之間謂 禮薄新之取給事矣上簟取滑大斂時直云斂席陳于饌東 凶爭不純事神則可純耳下莞者草質滯不易動 體吳耳叉司几筵葦席不言純柏席用崔黼純諸侯則紛純 || 小地の対象には、オートの関係をは、日本の間、一一一一 此亦斂席也說文云簟竹席春官司 標禮器耳然則士喪用燕器耶蓋士 儿筵無質席而小雅斯于詩云下莞 **上簟则生人 亦用焉討稱平居周官** t

為重有裏者許慎衣篇所謂無絮為給重衣為複寫發是 稷而滅裳喪大記云袍必有表不確衣必有裳謂之 鼎 巾 裙 云穟者以褶則必有裳標褶有無裳者戒穟者不得因裙 此據無裳之稽大記又云小斂君大夫士皆 展博作用湯根子丁 之即受甸人徹以待于西階! 布當用功布也奠畢時云祝受巾 **承豆俎醴酒為文則不獨巾俎矣 玉藻記云禪為網帛爲裙為謂也與** 纊爲繭縕爲袍皆言衣異制異名 無褶字褶从習習鳥數飛申其義 从單無裏者說文云衣不重也許 Q. 下者 稱 但 巾

紒 燎 紁 斂也複褶異義者褶對複則據有著為名親身褻服日视故 **衣複会大劍君大夫士祭服無算君褶衣裙氽大夫士猶** 必有表方言云複襦江湘之間謂之漋或謂之筩湫 長島河西龍路圖十一 | 鄭玄||云單被說文||云衣系義皆未 盡蓋給橫衾縮各得絞制之半以 之百則然炤之總名也 閣人掌設門 燎郊特牲記 云庭燎 **大燭謂之燎說文云放火也天官** 制 二横者五衣多故縮橫 古



鼪 縢 **菹為芋方言無此文或漢末有之然斷奏菹芋爲何嫌到**t 經云兩者 豆 # 謂之芋廣其義為大言以大<u>贏為</u>魔也鄭玄云齊人 葵菹矣云毼白也亦無徵焉 實葵菹 表意同可豐品問十二 實芋嵐醢說文云大葉質根駭 經 愼云編泉號一 故 用布帛無縢蓋 云兩邁 如常豆侧木爲之不加刮 日毼說文 紙選 無縢說文云縢緘 無毼字蓋即榻許 質腫 口標吉遵有 日粗衣皆惡意 以竹索約 八或名 故

布巾 席劍 旆 異也吞官司几餘云凡喪事設達席其柏席 奠 **則紛純奠席其**權 席耶 用可目示另目 維純可矣 **斂奠先假于東堂下大皴賞** 經云貨席在假北飯席 特性記云邁巾 與 云東方之傾則顏在東方小 大飯席 無滕 用在 卽 絡此蓋 純諸侯 在其東 削

龍輔而椁幬諸侯輔而設帱喪大記云君嬪用輔攢至于上 之殯也嵌塗龍輔以椁加斧于榔上畢塗屋又顏柳日天子 蓋縮而衽横交鑿孔可容既加蓋則擀合之植弓記三天 畢塗屋大夫殯以慵欖至于西序塗不暨于棺士殯見衽途 肂 擅可記所謂莆即喪大記所謂攢天子上與旁資屋如椁而 上帷之說文云櫕積竹杖一日穿也一日叢木蓋倉積之義 楔觜棺盖如衣裳相交之衽故曰衽棺 見衽者以見衽為掘度 幽獲也檀弓記周人殯子西階之上 **肂在西階上經三掘肂見衽未肂而云** 預柏之穴日建說文云殔歷也極下 _

軸 棺 當衽以上或用竹櫕而塗之亦不暨相旁加帷上或加竹簟 高當序上騰塗不盡棺廳橙塗皆見焉士殯見衽棺已卑塗 **郭之喪大記云土蓋不用漆二衽二束 麟龍荊加塗諸侯樹旁上不盲而麟輔不龍亦畢沧大夫櫕 外伯甘肃上京中山川地名区际山山** 經云升梢用軸鄭玄云 關戶謂之相久關謂之極喪大記 **云士棺六寸不綠蓋不用漆二**衽 東說在聘為士介棺 和川軸鄭云朝 前其輸挽而行既夕經云 軸狀如轉聲 神似神典

龍喪大記云君葬用輔大夫葬用輔士用國車鄭讀國爲幹 **文無輔字當作盾盾有循周義有蔽格義 天子龍橢刻筐木** 後著金而關輔大夫諸侯以上有四周謂之輔天子畫之以 **攷工記言車制輪制不及軸時言戰說文云軸持輸也蓋輿** 為龍形君或飾以烏獸大夫或以草木矣 國車即軸謂之國 成楔之中受載處與氐楔木灰之散兼輸 去轉下去轐左右不更屬輸惟兩旁設板鑿孔貫輔軸品剧 下關輪橫木戰其大名皆輳處謂之軸喪車殺闹上去與前 小木括于後推之葬亦用者于載極加惟充宜免拒塞也說 而繁輻也上為四周板以承相日輔亦曰國升者屬於挽之 者無他飾取空闊四圍之義以氐筐爲名與取軸爲名事義 、含义的社员以外,由自己各种的人。1 用非如常車高輪 F

葢 加時為升節也葢以閩柏上口中隆而邊下兩品衰出 **文無輪字蝨下云轎車下庳輪** 車飾輲即軸鄭以觸為酫謂即周禮屋正 蜃輇聲近制同說 同也襍記云大夫士死于道至于家而說精載以 义既說且載更出車名本為易車而鄭乃 云不易夫至家當 喪大記云士葢不用漆 器當為益說文 云蓋苔也在下云 殯減制用軸宜 覆也黏从在蘇假為蒞山經云葢 在下謂不當與相同升於 日無幅 矣 輸下云有輻日輪 一級罪 飾 調

伯麗耳巴爾呂間一二

獎為差加魚腊則各為 首行糗實之倫與斂奠朔月奠之徹而復設也安可謂惑蛆 四種黍稷深稻三種黍稷梁三種黍稷據用常食之貴者去 **郎云熬君四種八筐大夫三種六筐士二** 蜉以瀆親也經三點黍稷各二筐有魚腊謂旁各一 **云閩門主人揖就次閩門而后揖就次在門外** 美の地域は日本は日本は日よーニー 筐君大夫士一也 變之殘肂設之循擴中之 **塗內棺外設熬盛以筐鄭玄** 夫黍稷馨香生人所尚神 所以惑蚍蜉使不至棺非也 云熬者煎穀將塗設于植旁 一種四筐加魚腊焉 **筐喪**士

記云戈廣一寸內倍之胡三之接四之鄭眾云接直刃胡其 之子凡戟而無刃秦晉之問謂之舒或謂之鎮吳楊之問謂 子鄭玄謂胡內接松謂之內然則支謂之胡戈末謂之援戈 秋官大行人以九儀辨諸侯之命等諸臣之箭以 之戈東齊秦晉之間其大者曰毀刮其曲者謂之鉤釕變胡 制下狹而上闊也盧人云戈秘六尺有六寸方言云戟楚謂 內 Ł 衞君之儀然也攷工冶 謂之次 無次即倚廬以草創如次 經云小臣 八後大兵器執以備 一人執戈先

敦瓦 車 **數貳車視偏駕但減工** 居備不虞尊者之優養也以上公差之王宜十一 **经线通过** 医二种 医二种 医二种 一种 一作耳蓋揀親眠子弟臣僕從為 奠下二云微朔奠敦政會 經云有黍稷用瓦敦有葢謂朔 車幾乘標就數乘數視命 行人所謂樊 男五就命 无說貳車有他制然則 記 一公貳車九 矣 **樱**浅就 八車

巾 坎以藏棺也外其壤仍外之隅南其壤當前兩隅間葬時北 地萬民之葬者入焉士有虧命故家人營之宅即擴掘地為 則有足有足則有耳如常敦不廢足較浴尸時哀少殺純 標面南之正鄉即下經筮者所指之中封封 為質故名 經云減與執豆巾者乃出雖以 必巾當如邁巾之布 未言豆巾固非申言邊巾知豆 壤掘中南其壤春官冢人等公墓 之地辨其兆域墓大夫掌邦墓之 經云筮宅家人營之掘 11111 四隅外其

椁之間君容 枕大夫容壺士容無舉所容度為將藏明器因 中都四寸之棺五寸之椁則因時為制不拘成法葢發稻有 椁 欑葬不可無椁也喪大記云君松椁大夫柏椁士穕木椁棺 多少以等尊卑則天子容度尤博矣又云君裏椁處筐大夫 小虞筐鄭云未聞英謂裏椁者以布襯椁廖漆 Variety detail time to the partie to the state of 一為大共五壤象五土敷旣窆取實之옏時云 實土三謂此土 存植弓記云殷人棺椁又云葬者 周宅內之木日椁說文云葬有木 尺鄭玄以端為題族又云夫子制 一周于椁又云天子柏椁以端六

虎黑文尾長于身仁獸食自死之肉引詩吁嗟乎騶虞葢畫 趘 既斬日材繩墨而別之日素轟合日成歷獻之皆若受命然 仍其質也經云獻材于殯門之外又云獻素獻成亦如之木 四方為白黑文謂之虞筐大夫不裏椁猶畫其旁士不虞筐 之椁以鄉棺為裏也筐有方義謂椁四旁說文云虞鹏虞白 果後弇諸獵左睨不類右睨不若又云一曰神龜二日靈龜 **賈叉云龜俯者靈卬者謝前弇諸** 以為神所散矣 老龜之骨藏而神之有事命而灼 之眂其浸裂之文以決吉凶謂之 **| 小龜類不一爾雅釋魚云龜三足**

東係灌黄作魔者権丁二

1

地郵 春釁龜祭祀先卜若有祭事則奉龜以往旅亦如之喪亦如 **靁即**不類一 與其體辨之凡取龜用秋攻龜用春各以其物入于龜室 ト又掌三易之法一 似王瓦者似瓦原謂原田兆之瑩鏬似之故名義則隘矣大 **兆帝顓頊之兆瓦兆為帝堯兆原兆為有周兆鄭玄以玉** 兆其經兆之 之旅謂軍也大卜掌三兆之法一曰玉兆二曰瓦兆三曰 四日實龜五日文龜六日笨龜七日山龜八日澤 音之轉南龜日獵屬北龜日若屬各以其方色 一體皆百有二十其項皆千有二 經詢謝古音同相假凍龜曰果屬西龜日臨屬 **丁日火龜 天官龜人 掌六龜之屬天龜 日靈屬** " 色戈斯区 100 月11 曲以记中回即5十二一 日連山二 |日歸藏||三日周易杜子春 百杜子春謂玉 F

皆六十有四掌三夢致夢懒夢咸陟其經運十其別九十鄭 龜之八命日征日象日與日謀日果日至日兩日瘳鄭界謂 玄以運當爲輝即眂蔵十煇日眡殿以占夜夢非也運者轉 連山為伏羲易歸藏為黃帝易大卜叉云其經卦皆八其別 大祭配視高命龜小事蒞卜國大遷大師則貞龜鄭玄謂正 徙之名夢各有運言經運猶言經兆經卦也又云以邦事作 貞下立君十大封則視高作趨鄉玄謂問事之正曰貞叉云 不及鄭眾成否之說以八命贊三兆三易三夢之占凡國大 龜于卜位又云凡旅陳龜凡喪事命龜卜師掌問龜之四兆 不疼謂疾瘳否鄭玄以與為共事皆是己又謂果為 男決則 征為征伐象謂雲物謀謂謀議果謂成否至謂至否兩謂兩 The same of the same of the same of the same of the

信号形 司 日日 用 日本中に一一一

舉之墨兆文深黑者又云凡下辨龜之上下左右陰陽以投 部義或然也又云凡卜事視高揚火以作龜致其墨作謂振 長者也奪人專掌簪龜人大一十師專掌龜占人掌先簪後 也葢占問之法小事籍大事龜亦可先籍後龜所謂籍短龜 中否繫幣所以書事比謂較命解書滅之占不當與命語錯 史占墨卜人占坼旣事則繫幣以比其命歲終則計其占之 命龜者而詔相之占人掌占龜以八谿占八頌以八卦占祭 龜合簪龜中否與其賢能而比其實筮龜時有聯事矣灼龜 下浸之形日兆猶兆域之有別然說交云灼龜坼形葢文从 八故以脈吉凶頌古籍解又云凡小籍君占體大夫占色 / 线点月日度场际十二 E

方二功三義四弓鄭文謂開占書分經兆百二十體爲四

置于樵謂先以楚焞近樵 燋 燋以然火英謂燋即炭也于灼龜宜楚焞發火于然燋宜若 **火火別也中左右加裂焉其理爲已別矣** | 樵存火以楚焞灼龜煙氣上薰兆文不可識矣經云楚焞 楚 焞 說文云楚叢木一 以待卜事凡卜以明火爇燋遂 明火蒸燃春官華氏掌共熊奖 說文云所以然持火引周禮以 **焞所以然憔鄭玄謂焞以灼龜** 引春秋傳婷耀天地蓋 其焌契以投卜師遂役之杜 **名荆焞明** 用楚為 业

信刑更日前另區——

軟處叉稱進矛戟者前其墩鄭云錫鐓雖在下猶爲首銳 犂然而待灼耶灼之為將形之也故曰龡其嫂契焌即焞謂 楚婷楚焯又何得名契英謂燋爲灼龜炭占席上有漆木以 契柱樵火而獻之曲禮記稱進戈者前其鐏鐏謂柲首手所 契然則名契者以爲吉凶之所符契也若徒眡高龜兆豈不 取兆日契說文云契大約也引易繁飾後代聖人易之以書 子春謂契爲契龜之鑿占不刻龜用鑿為達鄭玄以爲契即 麈爲澤如杜訓契則鑿何龡焉鄭又讀焌爲戈鐏之鉧謂以 楚婷焌婷聲近而轉獻者以氣呵之猷焌令燋愈然歡契去 **鳟取其鳟地平底日蟓取其鐱地鄭意欲證契末而銷義** 契首則龡之何與 是我被宣教·西班易斯斯斯十二



帶 中 纊 之無笄葢因男子不冠之厭 **との地方には、「お客からの利却」」 - 1111年111日 | 1111日 | 111日 | 1111日 | 111日 玄睸若今之禪襂漢俗不可見矣** 終幅適要馬皮園明衣裳間組繫右結鄭 記云波明衣婦人則設中帶日帶日中在 記云其母之喪則內御者浴鬌無笄說 曾髮地絞而卷之當有細絲纏會下固 名婦人重帶以達敦也制葢用布廣 (無餐當作會後人因髮事加髟耳鬠 易見 置口鼻間病甚氣微候者 **乙或作絖屬者蔣引新縣** !別當徹之非事宜心 木于寢後偏廁處為之 廁 然鄭玄訓涅為塞云 **厕也說文云涅黑** |士不備官象隸僕耳若秋官六隸則掌厲祭事不通職 涅廁夏官隸僕掌王 八角顶写目亦名臣一二 一在水中引申有塗飾義養塗之若新 中掘坎架木坎上備踞坐馬記云隸 寢埽除粪酒之事廁在寢後職當涅 **也矢羽之所口廁廁有仄義葢莾** 說文云廁清也釋名云廁言人 在上非 在復數之叉示鬼神不用果爾 |或日軒前有伏似殿軒皆非義 **圆至碳之處宜常脩治使潔清** 也或日涵言溷濁也 ニュ

素勺 棜 言以大小分鄭玄謂如漢時之舉未可知也要以上能奠餒 心高而博又不似承尊之面小足卑爾 尊廢禁大夫士依禁葢於禁對廢禁言以有足無足分對禁 一十一個智力的四個四日,但可能所有 記云設於于東堂下南順齊于坫饃 蓋如常勻但以無飾稱素知吉勻文 側尊用禁禮器記叉云天子諸侯之 詩鄘風柏舟云髧彼雨髦傳云鳧雨 記云既殯主人說鑑說文云髦髮也 于其上玉藻記云大夫側奪用於士

笄總拂髻葢 言既笄且 總則以膏廖之水拂髮眉間備親 所翦髮為飾旣長蓋飾安用戴此餘髮且髮不可易戴至親 象幼時鬢其制未開夫幼時剪髮為鬢長形以為角髻非用 撫長則織麻絲如後組繫鬢間以家孺慕冠并則自有髦屬 當戴髦以首經散垂與髦同在鬢間因言說節旣說當易絞 在解冠矮間其制可知其戴時可知矣鄭玄云髦用髮為之 武故左氏云豈如弁髻葢盡飾之道也玉藻記云親殁不髦 說又將何以置之故知絲飾同矮也記言之者未殯時親戶 垂之經故下云三日絞垂 說文云冠系也葢平時之纓左右屬冠紐結垂之記云纓條 殁乃有數十年不做之髮耶果以戴髮爲孝髮受于父母既 1月月月日でいるかとて下ーーー CORPORATE OF THE THEORY 之

纓 武即稷耶抲稷當自爲稷也又云厭伏也稷無伏義豈文在 纓下而離訓上冠乎 自然自己には一世に一日に日日に日に上に 玄謂逼屈一條繩為武垂下為纓不知 丁右不雨屬冠旁形制狹小故日厭鄭 **厭厭促廹意條屬通屬謂自左通屬** 記云主人乘惡車白狗陪蒲蔽 馬不齊髦名以惡標喪中所乘異 以蒲茦犬服术錧約綏約轡木鏣 常車也春官巾車云王之喪車五 木車蒲蔽犬幎尾櫜疏飾小服 Ē 御

市車叉云素車棼蔽犬幎素飾小服皆素鄭以棼為蘋麻謂 藩香藥草不言服亦小服主人但言惡車無變者士不得備 鄭以為刀劔短兵之箙其悖與訓櫜同此葢未葬時所乘也 薻敝犘淺幎革飾鄭謂旣練沂乘叉云뿳車雚蔽然幎髤飾 雀為黑多赤少之韋色禫時所乘英謂藩即爾雅所謂葶充 鄭謂崔葦然果然大祥所乘此二車不言服葢皆小服以素 以幅布張蒲磁問若囪不周軹轛故曰小稱服循人之衣然 車不變木車之服从可知也又云漆車藩蔽豻幎雀飾鄭以 卒哭所乘英謂犬幎不言尾橐漸飾不用全犬也又云薻車 五路不邇戎器喪車反備非常哀子偁戈理爲悖矣小服謂

為覆式尾著式下若囊滅高鄭玄謂又以尾為戈戟之改夫

蒂狗白 蔽 要車稱幎爾雅釋畜云未成豪狗說文狗下引孔子曰狗 也叩氣吠以守用白狗喪尚素猶王木 車用犬幎但不用: 点发电点 19 mm 电阻 2 m 向回 十一一 皮故不尾櫜耳 **基常時覆飾以巾因變稱幦猶** 駹車本用然幎此古文有異句也 說文|| 云伟紫布引用禮駹車大帝 **車因易服之節差飾焉 嶷客葢以竹夾滿葉垂式前麻穙** 磁車前鄣滿說文云水草心常時 聚干轉 不磁喪中不欲接人磁之用蒲取 Ŧ

载浦 尨狗也秋官有大人掌犬牲服被也衣之總名因以名諸衣 被者此則謂車旁內鄭鄣蒲蔽之疏鏬犬皮爲之取惡亦如 一之小服不周帀也鄭玄以為兵服如巾車說王喪車小服 姦所用並引書虎賁逆子到文多見共瓊而失理耳 記云御以蒲菆御治也治馬之具謂策 莊子每抽矢黃納諸厨武子之房 孔子曰眡犬之字如畫狗也爾雅 說文云犬狗之有戀蹏者象形引 豪狗長喙狻短喙歇猗絕有力狣 釋畜云犬生三猣二師一獅未成

有別者にデルスローニ

鑣木 木 卷約 綏約 舘 一生人自己的行列自己的印象的一十二 引馬轡纒為小繩故日約猶約綏意 車耑沓也葢吉時裏館以金喪純用木 車 雅閒關車之牽兮牽卽館說文作輔云 兵士銜枚也吉時以金有倘詩素風 **喜頭謂之** 說文云鏞馬街蓋以金為之橫支馬 取堅利亦遠臨 纒束也 亦如常綏喪取減殺故約說文云約 口其耑上 一館館循關言以關輪詩 鸣 頭以行馬止噴猶 華

憗 布 疏 疏姉 字檐下云衣被前知炎詹聲近傳書為淡不用蒲被者蒲 自關而西謂之襜褕其短者謂之短褕以布而無緣做 **程缪面朱總厭糧勒** 之謂之襤褸自 鸞鰈鸞飾鏞也喪用木惡噌之有聲 人以靜為德尤忌見人也吞官巾車云王后之五路重 7月1月1日月1日一一 關而 面績總安車彫面鷺總皆有容葢鄭玄 西謂之統稱其敝者罰之綴說文无發 王祭祀所乘厭糧次程羽相迫勒 記云主婦之車亦如之疏布模蓋 **蔽叉 云襜褕江淮南楚謂之橦穃** 衣車以布交于後日被爾雅釋器 衣被前謂之稽方言云檐謂之 面 而 쇘

| 雌裳即發以周雕前後得裳名記所謂亦如之者如惡車之 **稽爾曲禮記云婦人不立乘則皆坐也詩衞風云漸車帷裳** 色繒爲之著馬勒直兩耳與兩鶵容爲精車山東潮之裳帷 其章朝見于王所乘鄉聚讀爲烏龍之屬云點總者青黑 **董車輕輪宮中从容所乘不言后之喪車葢如王喪車而加** 或日潼容巾車及云糧車貝面組總有握鄭玄涓不重不原 **精黃館約綏轡鐮及馬不齊鐵耳有發則宜無滿藏犬脫** 以糧俸側貝面貝飾勒當面有提別無葢調握即幄出桑所 王龍勒之韋爲當面飾从王賓養所乘安車彫面畫之不龍 記云貳車白狗攝服其他皆如乘車第玄御貳為副後人且 Section and therefore a benefit about the section.

服攝狗白 貢 車 信用時間層界個一二 云攝猶絲謂狗皮絲服差飾夫 狗取色純發惡車用大狗麤豪 衰以下所乘惟變白狗攝服 變文稱攝標大服即小服矣鄭 純色攝聶也小也不必周虧 以上從惡車之武車可知也 差于主人亦不得有文心則士 以爲倅貮之車非也王備五喪 知貳猶二葢服輕子弟从出齊 車稻不爲副喪事尚簡士殺 皮取惡乃用綠飾爲文耶 軹 p

帚 **鬣謂鄉下之鬚末謂其銳小處少儀記亦云拚席不以鬣管** 爾 初卒奠埽者執帚垂末内鬣从執燭者而東示汎埽之 卻之左手奉之从微者而入比奠舉席埽宝聚諸窔布席如 亦云蔧埽竹也从叉持蛀或从竹作篲記云朔月童子執帚 子弟子職篇有拚禮 雅釋草云茾馬帚又云前王聾葢草竹皆可為帚故說文 人名英格兰 医阿拉克氏 医二十二 說文云糞也从又持巾埽口 康初作箕帚秫酒少康杜康也葬長垣 Ē 、內古者小 2禮也

儀禮爽固禮器圖第十二終 有用が用するデルスト 壽櫟爐弟三子吳 弟 子羅紹驥繪圖 王用實再校 傳守中校勘